

八丈出張所管内感染症発生動向調査

東京都島しょ保健所 八丈出張所管内(八丈町・青ヶ島村)



【定点把握疾患】2025年 第30.31週 (7月21日～8月3日)

八丈島 30週:流行性耳下腺炎 1件、COVID-19 17件
31週:COVID-19 20件

青ヶ島 30週:感染性胃腸炎 1件
31週:感染性胃腸炎 1件



COVID-19が八丈町で増加していますので、今一度、感染予防を心がけましょう。

【東京都全体の状況】東京都感染症情報センター 第30・31週 (7月21日～8月3日)

・30週:・新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は、3.44と増加傾向です。

ひとくち感染症情報『チクングニア熱』



1 チクングニア熱とは

チクングニア熱は、チクングニアウイルスを持った蚊(ネッタイシマカ・ヒトスジシマカ)に刺されることによって生じる感染症です。病名は、「激しい痛みのために体を折り曲げて歩く様子」を意味するアフリカの言葉から来ています。

2 原因と感染経路

病原体は、チクングニアウイルス(Chikungunya virus)です。
チクングニアウイルスを持っている蚊に刺されることによって感染が成立します。ヒトからヒトに直接感染することはありません。これまで国内感染例はありませんが、チクングニアウイルスを媒介する蚊のうち、ヒトスジシマカは日本にも生息するため、注意が必要です。

3 症状

典型的には、蚊に刺されてから3～12日(多くは3～7日)の潜伏期の後、発熱、発しん、関節痛がみられます。急性症状が軽快した後も、数週間～数年にわたってリウマチに似た関節痛や腫脹、圧痛が続くことがあります。

4 治療

症状に応じた対症療法が行われます。痛みと発熱に対しては、アセトアミノフェンを使用します。アスピリン等のサリチル酸系の解熱・鎮痛剤の使用は、出血傾向増悪の可能性があるので控えて下さい。

5 予防のポイント

予防接種はありませんので蚊に刺されない工夫をする必要があります。

- ①雨水タンクに蓋をしたり、タイヤに溜まった水・ペット用の水・鉢植えの水を放置しない。
- ②戸外に出るときは肌の露出をできるだけ避ける。
- ③虫よけ剤を適切に使用する。
- ④蚊が室内に入らないよう戸や窓の開け閉めを減らし網戸やエアコンを使用する。
- ⑤渡航の際は設備が整った(網戸の設置や必要な清掃が行われている等)宿泊施設を利用する。

☆厚生労働省感染対策 https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2_1

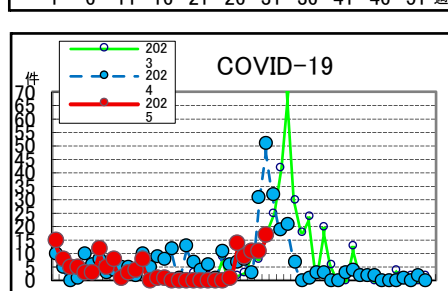
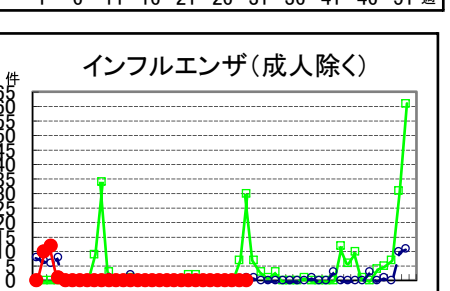
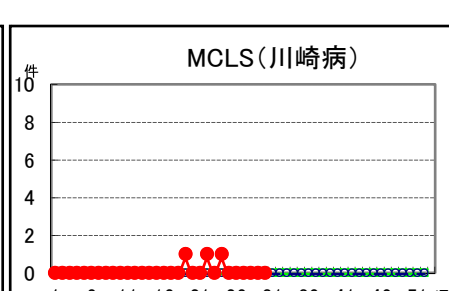
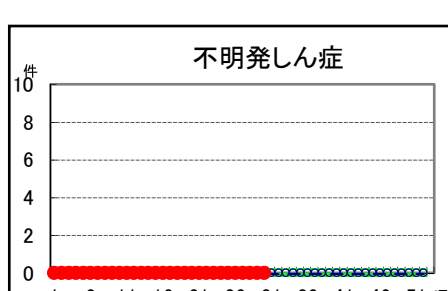
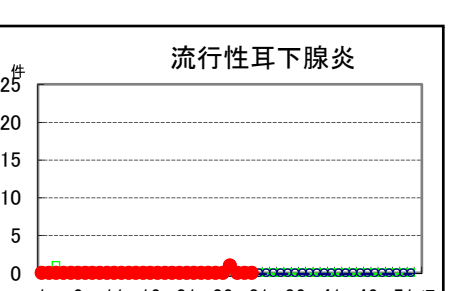
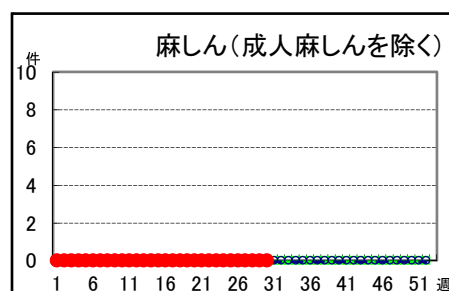
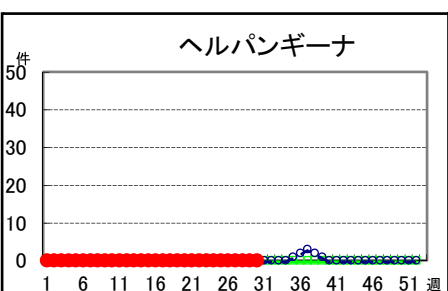
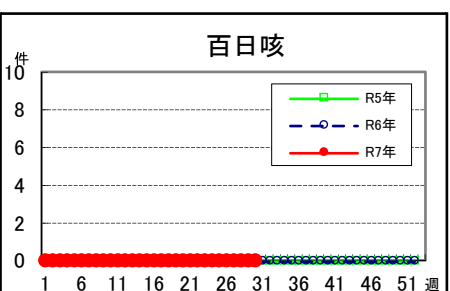
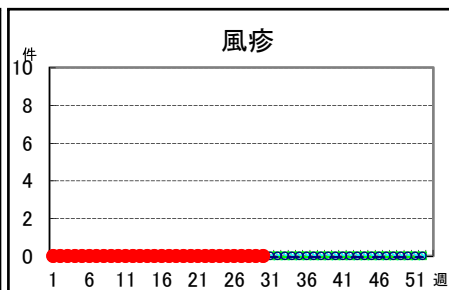
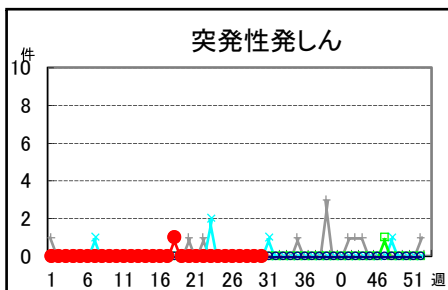
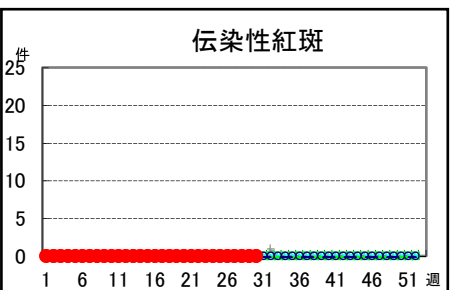
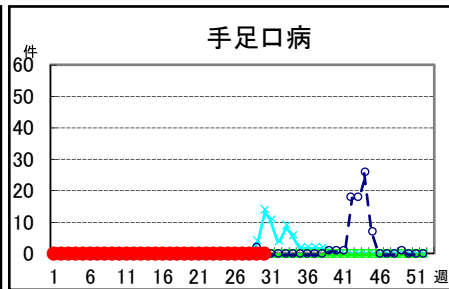
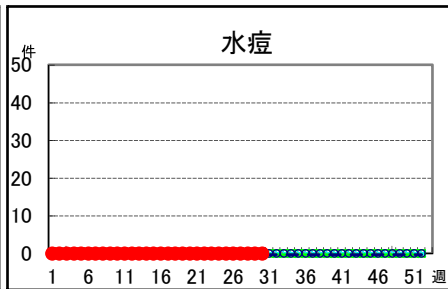
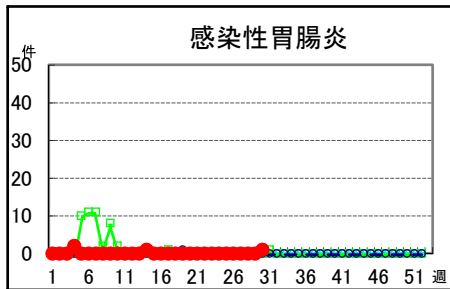
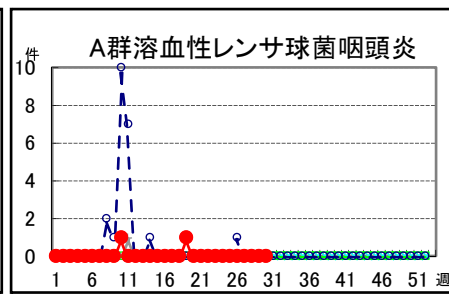
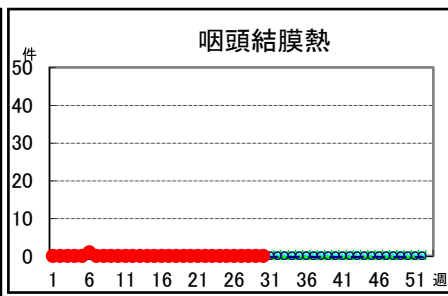
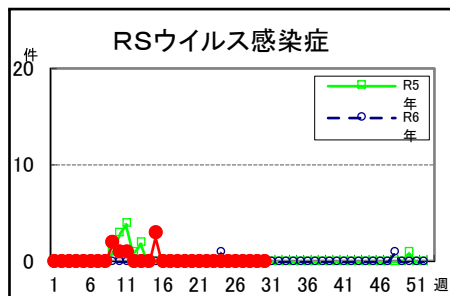
島しょ保健所では島の11医療機関から感染症の報告をいただき、情報提供をしています。

※八丈出張所管内、東京都(全域)、全国の発生動向につきましては、下記のホームページでもご覧になれます。

○島しょ保健所八丈出張所 <https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shisetsu/jigyosyo/hokenjyo/tousyo/hachijou>

○東京都(全域)⇒Web版感染症発生動向(東京都感染症情報センター) <https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp>

○全国⇒国立健康危機管理研究機構(感染症情報提供サイト) <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>



※感染症発生動向調査は、感染症法に基づき発生状況を把握、分析し情報提供することにより、感染症発生およびまん延を防止することにあります。八丈出張所管内では、町立八丈病院、青ヶ島診療所の2施設の医師の診断に基づき集計しています。

【編集・発行】

島しょ保健所 八丈出張所

電話:04996-2-1291